

救命救急医療学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Matsumoto N., Satyam A., Geha M., Lapchak P.H., Dalle Lucca J.J., Tsokos M.G., Tsokos G.C.: C3a enhances the formation of intestinal organoids through C3aR1. *Front. Immunol.* 8: 1046, 2017 (IF: 6.429)
2. Matsumoto H., Matsumoto N., Shimazaki J., Nakagawa J., Imamura Y., Yamakawa K., Yamada T., Ikeda M., Hiraike H., Ogura H., Shimazu T.: Therapeutic effectiveness of anti-RAGE antibody administration in a rat model of crush injury. *Scientific Reports* 7: 12255, 2017 (IF: 4.259)
3. Satyam A.*, Kannan L.*, Matsumoto N.*, Geha M., Lapchak P.H., Bosse R., Shi G.P., Dalle Lucca J.J., Tsokos M.G., Tsokos G.C. (*Authors contributed equally): Intracellular activation of complement 3 is responsible for intestinal tissue damage during mesenteric ischemia. *J Immunol* 198: 788-797, 2017 (IF: 4.856)
4. Matsumoto M., Yamakawa K., Ogura H., Koh T., Matsumoto N., Shimazu T.: Clinical significance of tissue factor and CD13 double-positive microparticles in SIRS patients with trauma and severe sepsis. *Shock* 47: 409-415, 2017 (IF: 3.113)
5. Tajima G, Tokunaga A, Umehara T, Ikematsu K, Miyamoto J, Sato S, Tasaki O: Early diagnosis using canonical discriminant analysis of innate immune receptor gene expression profiles in a murine infectious or sterile systemic inflammation model. *J Trauma Acute Care Surg.* 2017 Dec 28. doi: 10.1097/TA.0000000000001789. (IF: 3.403)
6. Hayakawa K, Tasaki O, Iwamura H, Wada D, Saitou F, et al. Relationship between Intracranial Pressure or Cerebral Perfusion Pressure and Prognosis in Patients with Severe Traumatic Brain Injury Treated with Mild Hypothermia. *J Trauma Treat* 6:380. doi: 10.4172/2167-1222.1000380, 2017.

A-c

1. Imamura Y., Murakami Y., Matsumoto N., Matsumoto H., Mitani S., Shimizu K., Ogura H., Shimazu T., and Jin T.: In vivo imaging of septic encephalopathy. *Sepsis, InTech 2017; chapter 7, 131-150 (ISBN: 978-953-51-3396-4)*
2. Imamura Y., Wang H., Matsumoto N., Ogura H., Shimazu T., Jin T., and Seiyama A.: Neurochemistry in the Pathophysiology of Septic Encephalopathy. *Neuroscience – Dealing with Frontiers, InTech 2017; chapter 7, 149-166 (ISBN: 978-953-51-0207-6)*

A-e

1. Goro Tajima, Ayako Tokunaga, Takahiro Umehara, Kazuya Ikematsu, Osamu Tasaki: EARLY DIAGNOSIS USING CANONICAL DISCRIMINANT ANALYSIS OF INNATE IMMUNE RECEPTOR GENE EXPRESSION PROFILE IN INFECTIOUS OR STERILE SYSTEMIC INFLAMMATION. 76th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma and Clinical Congress of Acute Care Surgery Program Book Page102, 2017
2. Kazunori Yamashita, Osamu Tasaki: The Operations of Nagasaki Prefectural DMAT Headquarters in Kumamoto Earthquake: Safety, Management and Coordination. *Prehosp Disaster Med.* 2017 Apr;32 (S1) p. S127 (Abstracts of Scientific Papers-WADEM Congress on Disaster and Emergency Medicine 2017)
3. Yoshihiro Nozaki: Our Preparedness for Radiological Disaster as the City Suffered from the Atomic Bomb Attack, Japan. *Prehosp Disaster Med.* 2017 Apr;32 (S1) p. S9-10 (Abstracts of Scientific Papers-WADEM Congress on Disaster and Emergency Medicine 2017)

B 邦文

B-a

1. 猪熊孝実, 上木智博, 泉野浩生, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 山下和範, 山崎直哉, 村上友則, 田崎 修: 下横隔動脈損傷による血胸の1例. *日本外傷学会雑誌* 31(1): 24-27, 2017
2. 中谷安寿, 田崎 修, 吉矢和久, 浅井貴子, 西尾慎一郎, 早川航一, 瀬尾恵子, 嶋津 岳士.RASS導入後のインシデント発生率低下に関する検討 *日本集中治療医学会雑誌* 24(1):47-48,2017.
3. 藤田文彦, 三浦伊代, 樋口則英, 山野修平, 世羅至子, 山口大樹, 久松徳子, 稲岡奈津子, 松永典子, 田嶋真理子, 田島純子: 長崎大学病院及び長崎西彼地区のNST活動状況について. *長崎医学会雑誌* 92巻1号 Page12-16, 2017
4. 中谷安寿, 清水健太郎, 大西光雄, 小倉裕司, 中堀泰賢, 山野修平, 幡川由香里, 日高泰徳, 瀬尾恵子, 嶋津岳士: 救命救急センターにおける看護師主導のチェックリストを用いた栄養管理プロセスの効率化. *日本臨床救急医学会雑誌* 20巻1号 Page28-35, 2017
5. 井山慶大, 猪熊孝実, 佐藤俊太郎, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 田崎 修: D-dimer を用いた外傷後静脈血栓塞栓症の新たなスクリーニング基準に関する検討. *日本救急医学会雑誌.* 28巻 Page134-144, 2017

B-b

1. 福島達也, 宮本俊之, 田口憲士, 土居 満, 岩尾敦彦, 田崎 修【救急外科手術アトラス:治療戦略と緊急手術】 汚染創

への対応 四肢開放創へのデブリドマン治療 救急医学 41(10):1407-1412,2017.

2. 高橋健介, 田崎 修. 人工呼吸器関連肺炎-マネジメントとその予防. 内科臨床誌 メディチーナ medicina. 54(1):24-27, 2017.
3. 竹田昭子, 平尾朋仁, 望月保志, 錦戸雅春, 松屋福蔵, 田崎 修. 【心停止下献腎移植推進のために】 長崎県における臓器提供に関する院内体制の整備とその効果 腎移植・血管外科 27(2):156-164,2017.

B-e

1. 松本直也, Satyam Abhigyan, Kannan Lakshmi, Tsokos George, 田崎 修:腸管虚血再灌流障害における補体 C3 の二律背反的機能. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 Page451, 2017
2. 猪熊孝実, 村橋志門, 金山周史, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 松本直也, 山下和範, 田崎修:誰が acute care surgery を担うのか? 地域性と多様性 地方大学病院における acute care surgery のあり方 特に体幹部外傷において. Japanese Journal of Acute Care Surgery 7 巻 1 号 Page102, 2017
3. 猪熊孝実, 村橋志門, 金山周史, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 松本直也, 山下和範, 日高匡章, 高槻光寿, 江口 晋, 田崎 修:迅速な開腹止血術により救命できた腹部刺創の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 78 巻増刊 Page606, 2017
4. 猪熊孝実, 村橋志門, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 松本直也, 山下和範, 江口 晋, 田崎修:腹腔鏡により診断、治療しえた魚骨による消化管穿孔の 1 例. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 Page704, 2017
5. 猪熊孝実, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修:異時性に起こった複数部位からの出血による出血性ショックに対して TAE が有効であった 1 例. 日本集中治療医学会雑誌 24 巻 Suppl. Page FP-069, 2017
6. 猪熊孝実, 高 健介, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 井上悠介, 曾山明彦, 日高匡章, 藤田文彦, 江口 晋, 田崎 修:止血に難渋した外傷性腸間膜多発損傷の 1 例. 日本外傷学会雑誌 31 巻 2 号 Page352, 2017
7. 野崎義宏, 山下和範, 猪熊孝実, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 高橋健介, 松本直也, 村橋志門, 田崎 修:当センターにおける頸髄損傷患者の気管切開適応に関する検討. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 Page631, 2017
8. 田島吾郎, 徳永彩子, 梅原敬弘, 池松和哉, 田崎修:全身性炎症における自然免疫受容体発現パターンによる早期病態判別法. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 page423, 2017
9. 山野修平, 田島吾郎, 高橋健介, 猪熊孝実, 野崎義宏, 平尾朋仁, 山下和範, 田崎 修:熱傷患者における亜鉛欠乏に関する検討. 熱傷 43 巻 5 号 Page301, 2017
10. 山野修平, 上木智博, 田崎 修:救命救急センター入院患者における亜鉛欠乏に関する検討. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 32 巻 Page470, 2017
11. 平尾朋仁, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修:外傷性椎骨動脈損傷に対する診断と治療 当院の経験から. 日本脳神経外傷学会プログラム・抄録集 40 回 Page129, 2017
12. 平尾朋仁, 村橋志門, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 野崎義宏, 松本直也, 山下和範, 田崎 修:脳死とされうる状態の評価後、瞳孔径が 4mm 未満に縮小した一例. 脳死・脳蘇生 30 巻 1 号 Page22, 2017
13. 平尾朋仁, 竹田昭子, 中道親昭, 高山隼人, 上之郷真木雄, 田崎 修:長崎県下三次救急医療施設の死亡退院調査からみた、臓器提供の選択肢提示における現状. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 Page640, 2017
14. 井山慶大, 猪熊孝実, 池田聡司, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 前村浩二, 田崎修:外傷後静脈血栓塞栓症の新規予防法に関する検討. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 Page450, 2017
15. 村橋志門, 高橋健介, 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 平尾朋仁, 野崎義宏, 松本直也, 山下和範, 田崎 修:臨床経過の異なる有機リン中毒 2 症例の比較検討. 日本救急医学会雑誌 28 巻 9 号 Page704, 2017
16. 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎 誠, 田崎 修:DCO:Damage Control Orthopedics 長崎大学病院における Damage Control Orthopaedics(DCO)の実際. 日本外傷学会雑誌 31 巻 2 号 Page185, 2017
17. 田口憲士, 宮本俊之, 福島達也, 森圭介, 上木智博, 尾崎誠:多発外傷に伴う下肢・骨盤外傷の治療成績. 骨折 39(Suppl):S310, 2017
18. 森圭介, 宮本俊之, 福島達也, 田口憲士, 尾崎誠:当院における下腿骨幹部開放骨折に対する膝蓋上アプローチによる髓内固定法の治療成績. 骨折 39(suppl):S170, 2017
19. 福島達也, 宮本俊之, 田口憲士, 森圭介, 上木智博, 尾崎誠:観血的治療を行った寛骨臼骨折の手術成績の検討. 骨折 39(Suppl):S75, 2017

20. 田口憲士, 宮本俊之, 福島達也, 尾崎誠: 多発外傷に伴う下肢・骨盤外傷の治療. 整形外科と災害外科 66(Spull.1):106, 2017

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	0	5	31

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田崎 修・教授	Associate Editor	Acute Medicine & Surgery
田崎 修・教授	理事	日本放射線事故・災害医学会
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会九州地方会
田崎 修・教授	評議員	日本外傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本熱傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本臨床救急医学会
田崎 修・教授	代表理事	長崎救急医学会
田崎 修・教授	世話人	日本熱傷学会九州地方会
田崎 修・教授	緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員長	長崎県
田崎 修・教授	保健医療対策協議会救急医療対策部会委員	長崎県
田崎 修・教授	ドクターヘリ運航調整委員会委員	長崎県
田崎 修・教授	長崎県メディカルコントロール協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	長崎地域メディカルコントロール協議会 副会長	長崎県
田崎 修・教授	長崎県移植医療推進協議会委員長	長崎県
山下和範・准教授	評議員	日本集団災害医学会
山下和範・准教授	評議員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	委員	長崎市地域MC協議会
山下和範・准教授	インストラクター	日本DMAT
山下和範・准教授	災害医療コーディネーター	長崎県
平尾朋仁・助教	学術評議員	日本脳神経外傷学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
田崎 修・教授	文部科学省	代表	基盤研究(B) シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御
田崎 修・教授	文部科学省	代表	挑戦的萌芽研究 低温ショック蛋白 RBM3 から展開する低温による炎症制御メカニズムの解明
田崎 修・教授	文部科学省	分担	基盤研修(B) プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳

			循環の解明
田島吾郎・助教	文部科学省	代表	若手研究 (B) 自然免疫受容体発現のパターン解析による 発熱の新規鑑別法の開発